

船舶事故等調査報告書

平成21年7月30日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第63号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年4月12日 12時05分ごろ	
発生場所	福岡県宗像市沖ノ島灯台から真方位041° 8.5海里付近 (概位 北緯34° 21′ 東経130° 13′)	
事故等調査の経過	平成21年4月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 漁船 第二あけぼの丸、75トン 129649、株式会社室崎商店 B 漁船 第一あけぼの丸、75トン 129648、株式会社室崎商店 C 漁船 <sup>りんえい</sup> 林栄丸、9.7トン FO2-6085（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、五級海技士（航海） 甲板長、免状なし、年齢不詳、経験年数20年以上 C 船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	A 右舷船首部の錨台に擦過傷 C 船尾マストを折損、帆を破損	
事故等の経過	A船は、船長Aほか9人が乗り組み、沖ノ島沖において、B船とともに2そう曳沖合底曳網漁のため、甲板長Aが単独で船橋当直にあたり、針路を北西として約5ノットの対地速力でえい網中、C船は、船長Cが1人で乗り組み、針路を北西として、約5ノットの対地速力で揚網中、平成21年4月12日12時05分ごろ、A船の右舷船首部とC船の船尾部とが衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 ほとんどなし 海象：波高 約1m、潮流 約1.5ノットの北西流	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、B船とともに2そう曳沖合底曳網漁に従事していた可能性があると考えられる。 A船は、自船に向かって接近してくるC船に対し、警告信号を行わなかった可能性があると考えられる。 C船は、船長Cが揚網作業に専念していて、A船が接近していることに気付かなかった可能性があると考えられる。

原因	<p>本事故は、A船がB船とともに北西進しながらえい網中、C船が北西進しながら揚網中、A船がC船の動静を確認していたが、警告信号を行わず、C船が、A船に接近していることに気付かなかったため、両船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>
----	--